

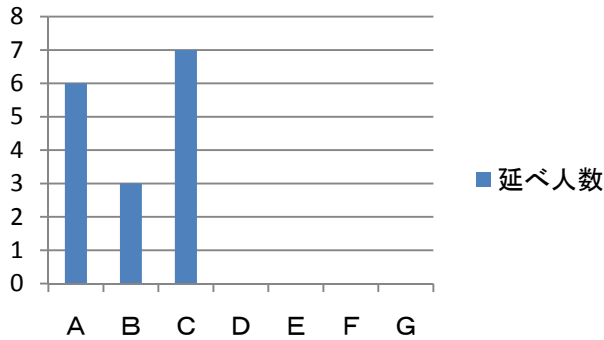
2011年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

2. 進学理由

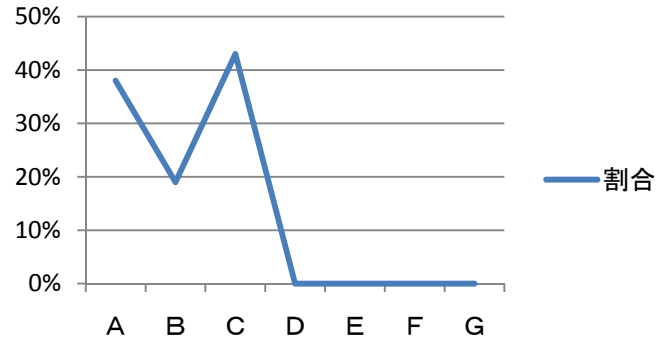
*複数回答

項目	延べ人数	割合	内容
A	6	38%	現在の仕事に関して、より専門知識を身に付けるため
B	3	19%	興味・関心のある分野の勉強がしたくなったから
C	7	43%	資格取得のため(税理士試験科目免除、臨床心理士国家試験受験資格、教員専修免許等)
D	0	0%	大学院卒業という学歴が欲しいから
E	0	0%	将来に不安を感じたから
F	0	0%	時間に余裕が出来たから
G	0	0%	その他

延べ人数



割合

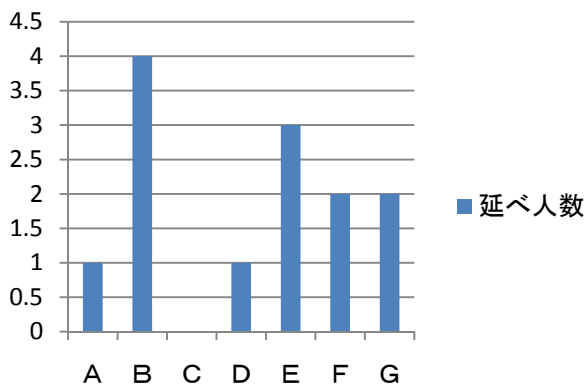


3. 進学するにあたり、どこで情報を得たか

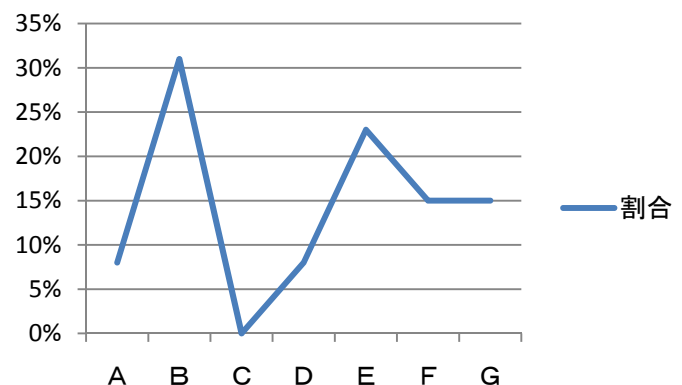
*複数回答

項目	延べ人数	割合	内容
A	1	8%	学部の指導教員
B	4	31%	先輩
C	0	0%	学内での説明会
D	1	8%	オープンキャンパス
E	3	23%	大学院パンフレット
F	2	15%	本学ホームページ
G	2	15%	その他

延べ人数



割合



G: 理由

M1	職場の同僚
M2	直接、大学院へ電話にて問い合わせ。

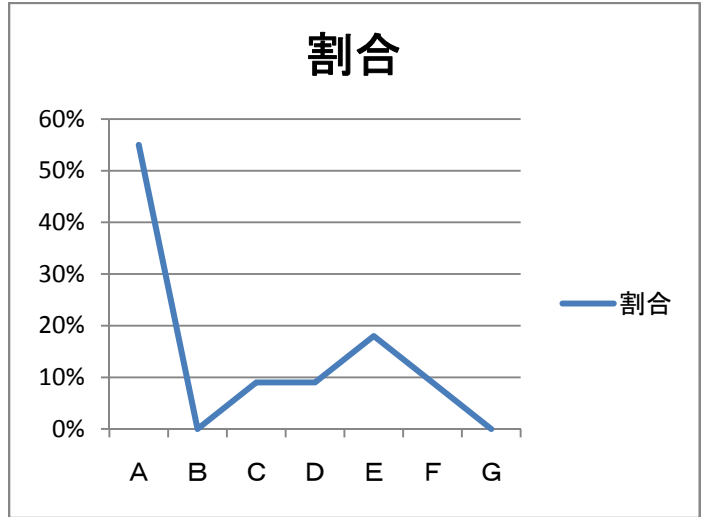
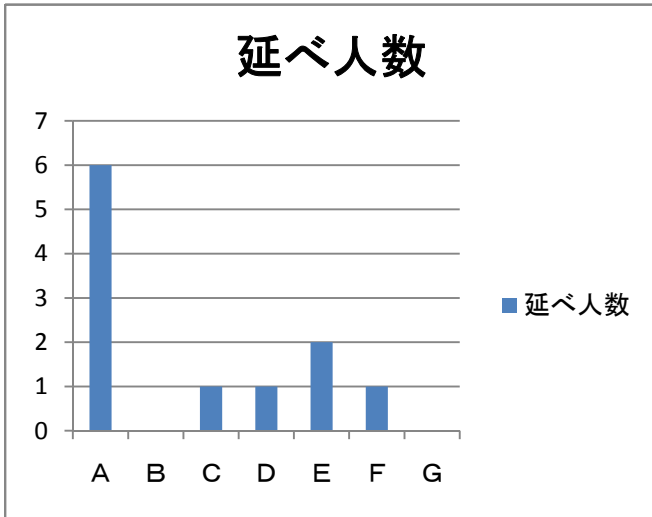
2011年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

4.研究について

*複数回答

①研究内容

項目	延べ人数	割合	内容
A	6	55%	理論的研究
B	0	0%	調査・インタビュー・実験を用いる研究
C	1	9%	二次資料・史料の収集や整理を伴う研究
D	1	9%	課題の発見に関する研究
E	2	18%	課題の解決を目指す研究
F	1	9%	実践的応用に関する研究
G	0	0%	どれにもあてはまらない

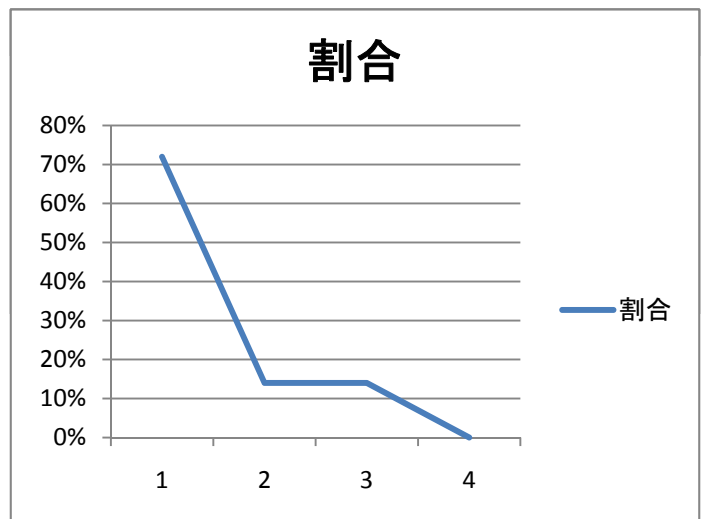
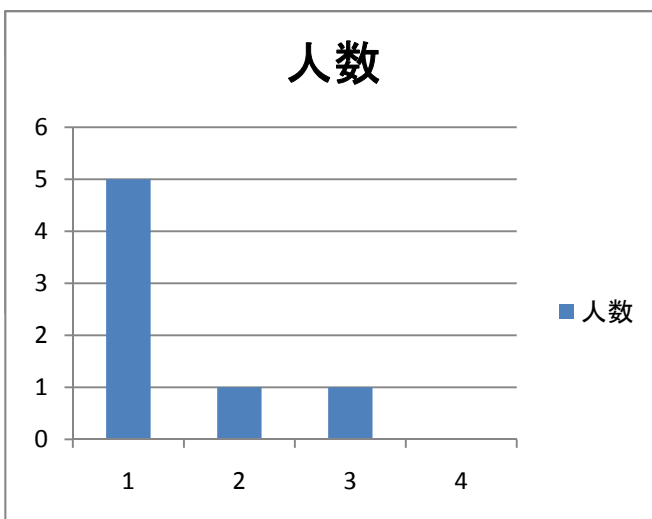


②研究の傾向

I.研究テーマ・内容

項目	人数	割合	内容
1	5	72%	Aにあてはまる。
2	1	14%	ややAに近い。
3	1	14%	ややBに近い。
4	0	0%	Bにあてはまる。

* A: 研究のテーマ内容が明確である。 B: 研究のテーマ内容は、まだ明確に決まっていない。



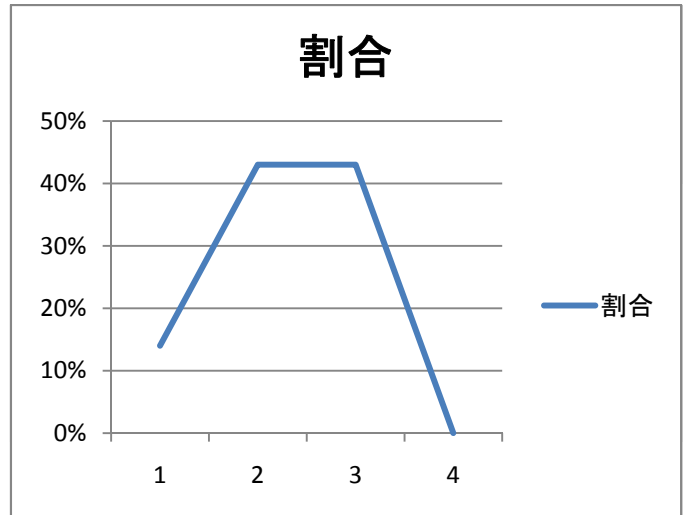
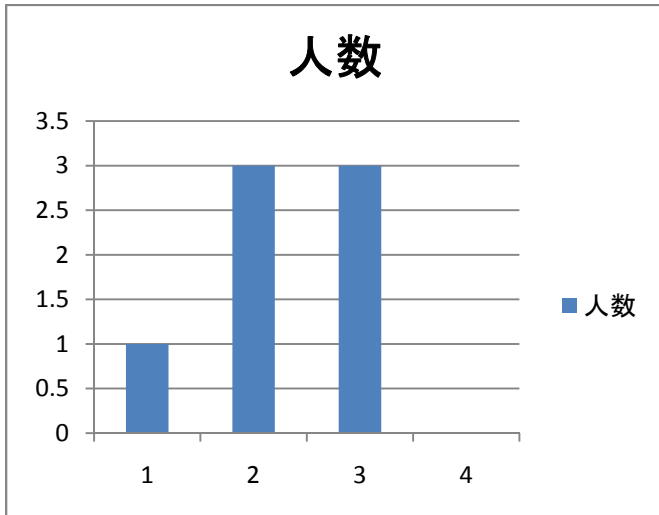
2011年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

Ⅱ. 研究の独自性

項目	人数	割合	内容
1	1	14%	Aにあてはまる。
2	3	43%	ややAに近い。
3	3	43%	ややBに近い。
4	0	0%	Bにあてはまる。

* A: 研究の独自性(オリジナリティ)を意識しながら、研究を行っている。

* B: 独自性(オリジナリティ)は意識せずに、研究を行っている。

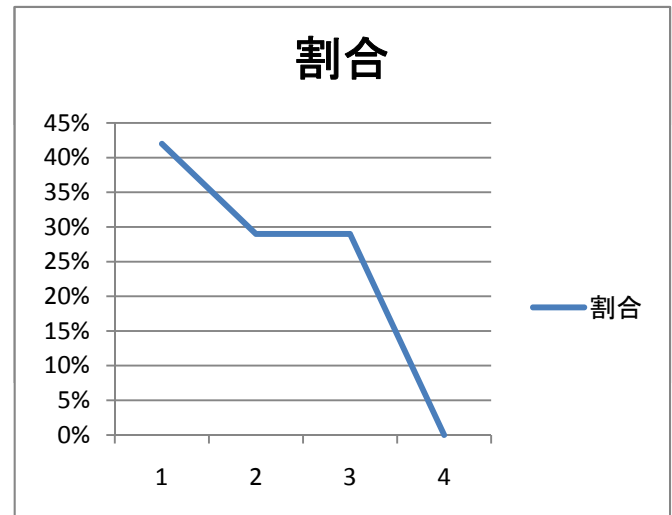
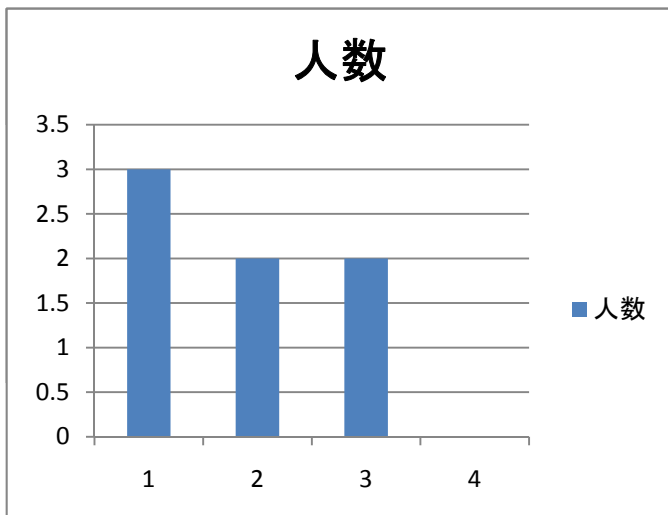


Ⅲ. 研究計画

項目	人数	割合	内容
1	3	42%	Aにあてはまる。
2	2	29%	ややAに近い。
3	2	29%	ややBに近い。
4	0	0%	Bにあてはまる。

* A: 研究の計画が具体的に定まっている。

* B: 研究の計画は、まだ、具体的に定まっていない。



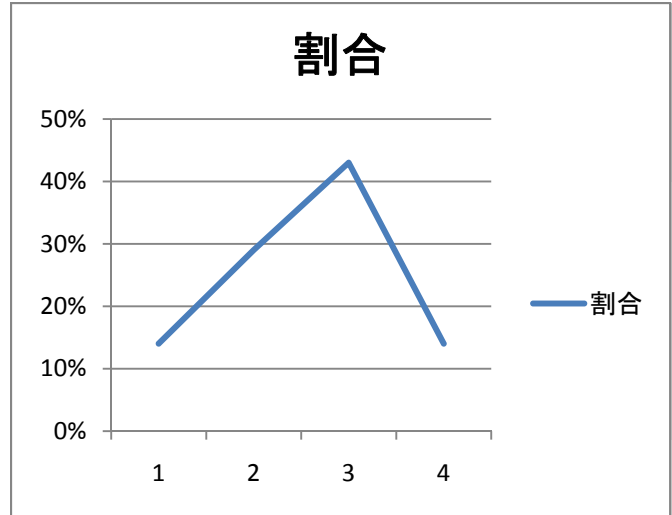
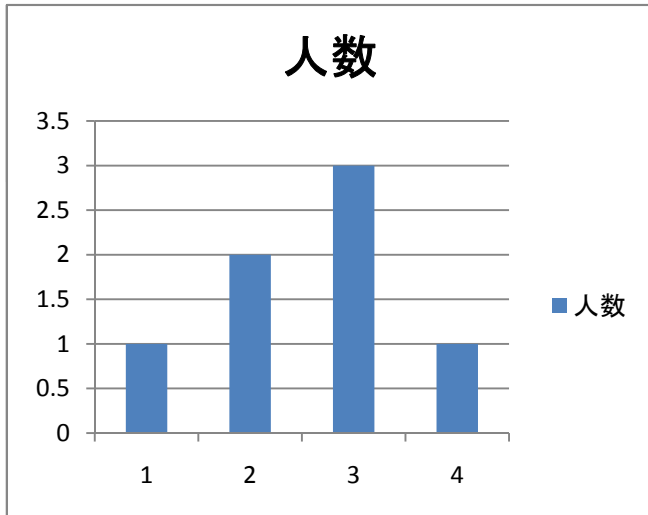
2011年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

IV. 研究内容の判断

項目	人数	割合	内容
1	1	14%	Aにあてはまる。
2	2	29%	ややAに近い。
3	3	43%	ややBに近い。
4	1	14%	Bにあてはまる。

* A: 研究を行うときには、自分自身の判断によってすすめている。

* B: 研究を行うときには、教員や先輩の指示に頼っている。

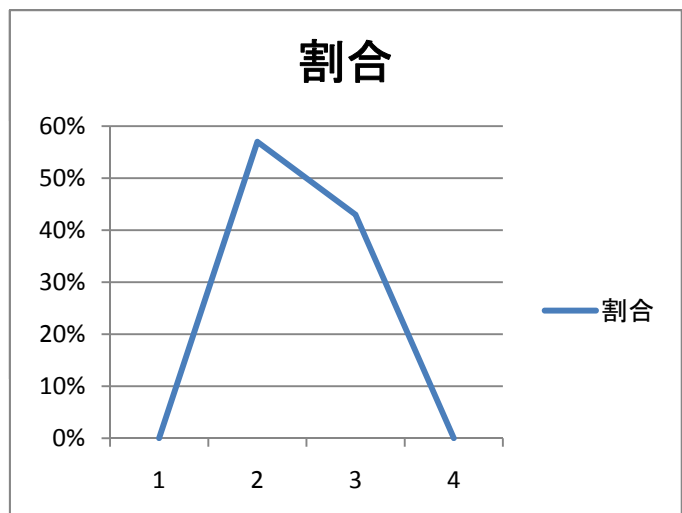
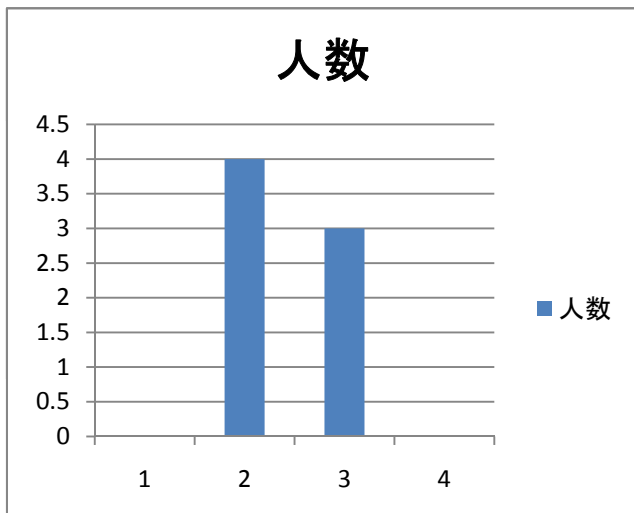


V. 他者の意見

項目	人数	割合	内容
1	0	0%	Aにあてはまる。
2	4	57%	ややAに近い。
3	3	43%	ややBに近い。
4	0	0%	Bにあてはまる。

* A: 他者(学内の教員、先輩)に意見をもらう機会を自分で作る。

* B: 意見をもらう機会是他者が設定してくれる。

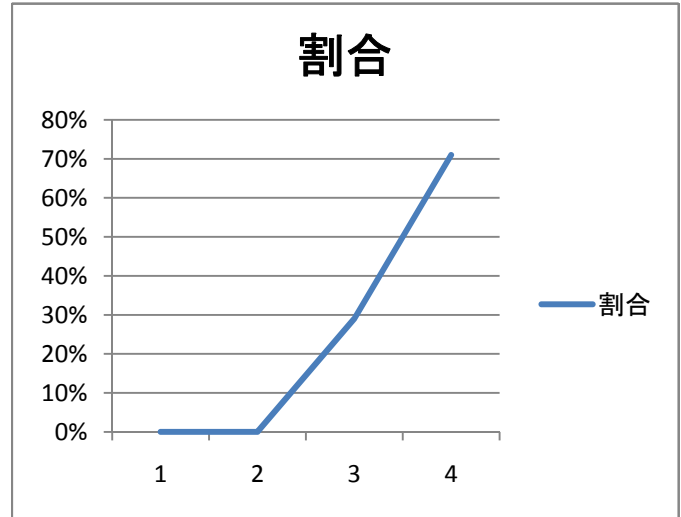
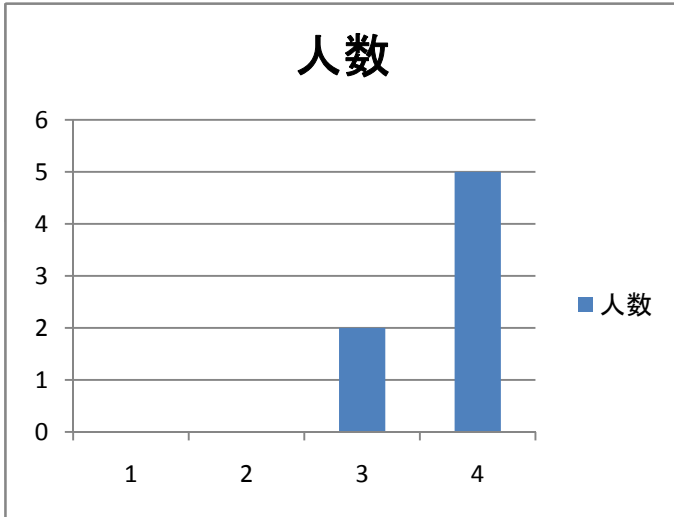


2011年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

VI.学外の研究者

項目	人数	割合	内容
1	0	0%	Aにあてはまる。
2	0	0%	ややAに近い。
3	2	29%	ややBに近い。
4	5	71%	Bにあてはまる。

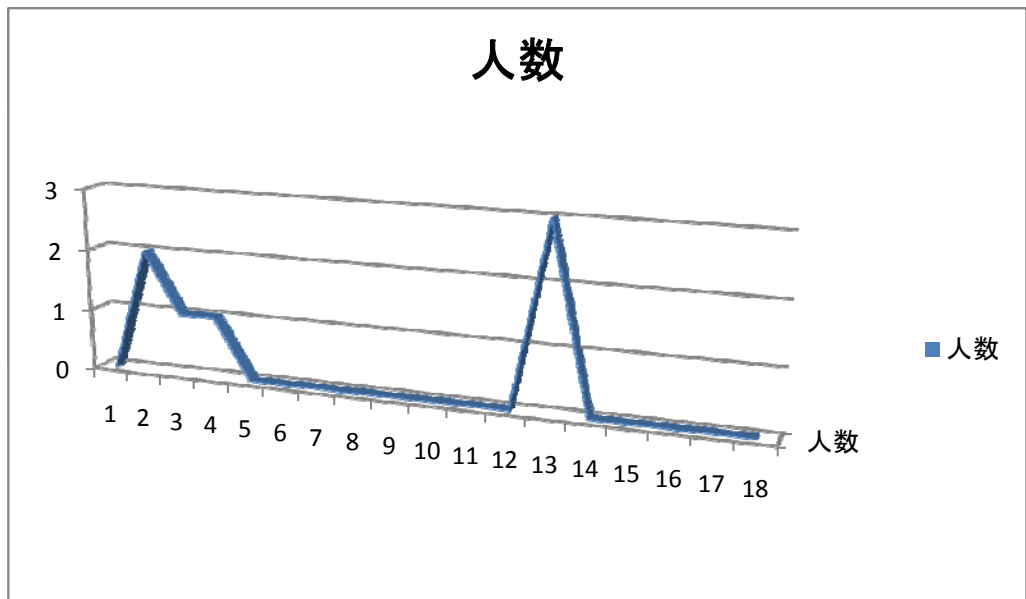
* A:学外の研究者と積極的に交流している。 B:学外の研究者との交流は少ない。



5.大学院開講科目について

①履修科目数

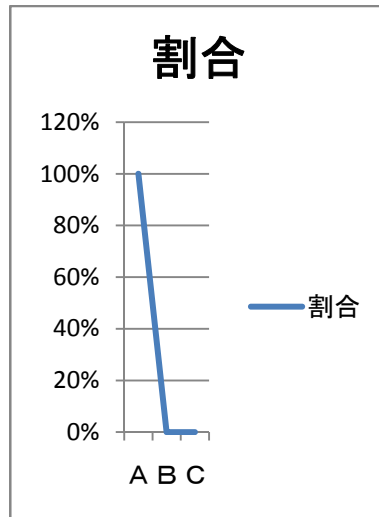
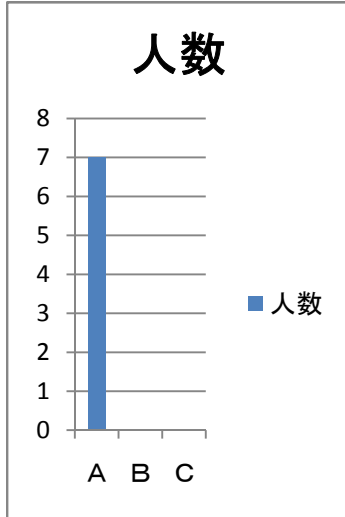
履修科目数	人数
0	0
1	2
2	1
3	1
4	0
5	0
6	0
7	0
8	0
9	0
10	0
11	0
12	0
13	3
14	0
15	0
16	0
17	0



2011年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

②役立つ科目

項目	人数	割合	内容
A	7	100%	ある
B	0	0%	ない
C	0	0%	科目の履修はしていない



②-2 科目名

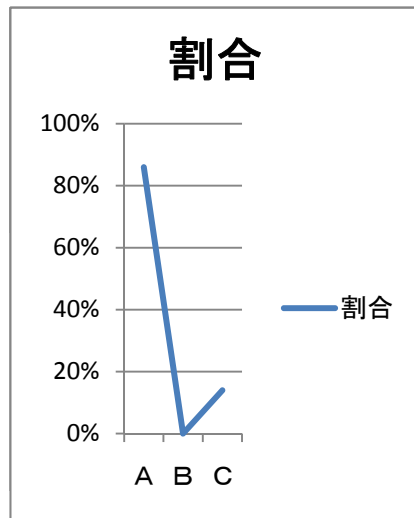
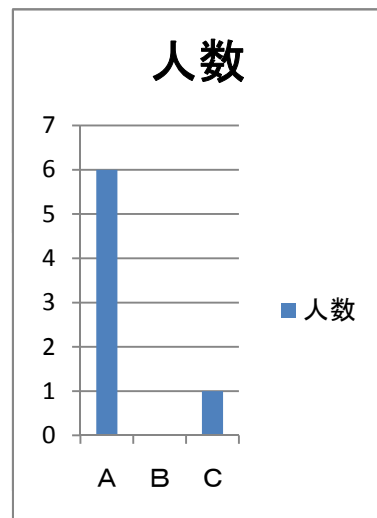
M1	税法、商法、行政法、憲法
M1	税法特論、税法特殊講義
M2	行政法特論Ⅱ
M2	税法、憲法、行政法
M2	税法学研究
M2	憲法特論

②-3 どのような点が役立つと思ったか

M1	私は、税法に関する論文を作成する予定です。これに関連して、基礎的な知識として必要になっています。
M1	修論についての「問題点の洗い出し」や「理論構成」等、なぜそうなるのか根拠を含めて徹底して学べる。
M2	行政に関する手続関係等、専門分野の知識が得られたことで、仕事の内容に直接役立つと思いました。

③改善科目

項目	人数	割合	内容
A	6	86%	ある
B	0	0%	ない
C	1	14%	科目の履修はしていない



③-2 科目名

M1	税法を学びにきたので、税法ゼミが欲しい。
----	----------------------

③-3 どのような点を改善した方が良く思ったか

※回答者なし

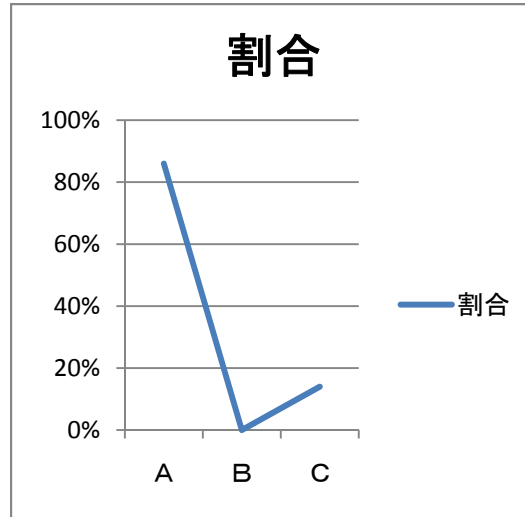
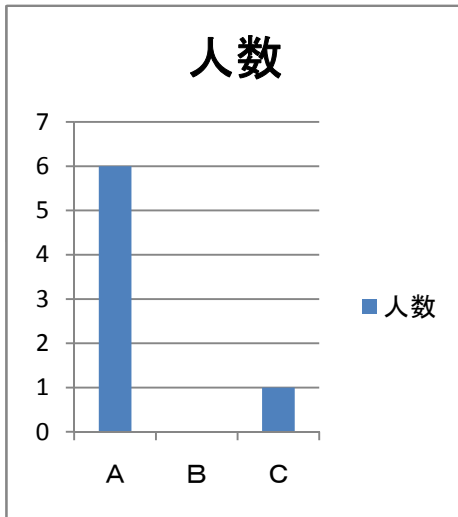
2011年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

6.指導体制・環境

①指導体制・研究環境に関する満足度

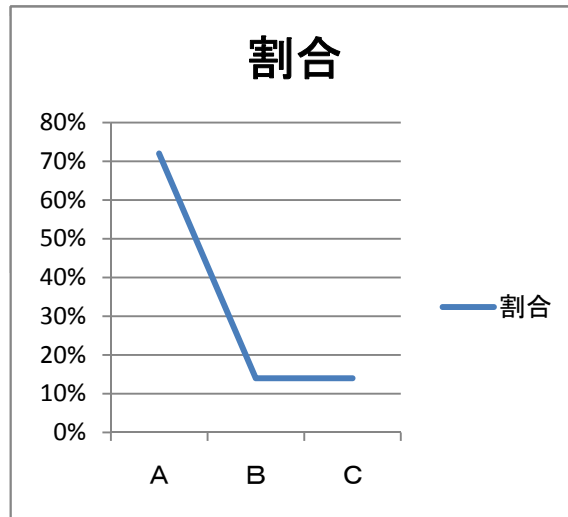
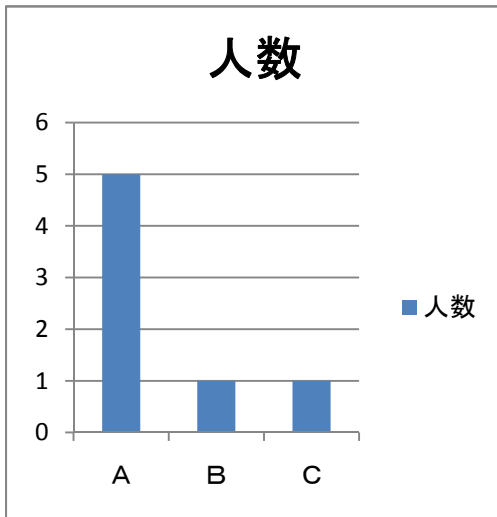
項目	人数	割合	内容
A	6	86%	満足している
B	0	0%	満足していない
C	1	14%	どちらでもない

②満足できない理由
※回答者なし



③入学前オリエンテーション実施の有無

項目	人数	割合	内容
A	5	72%	あった方が良く
B	1	14%	無くても良い
C	1	14%	どちらでも良い



④指導体制、方法、研究環境に関する意見・要望

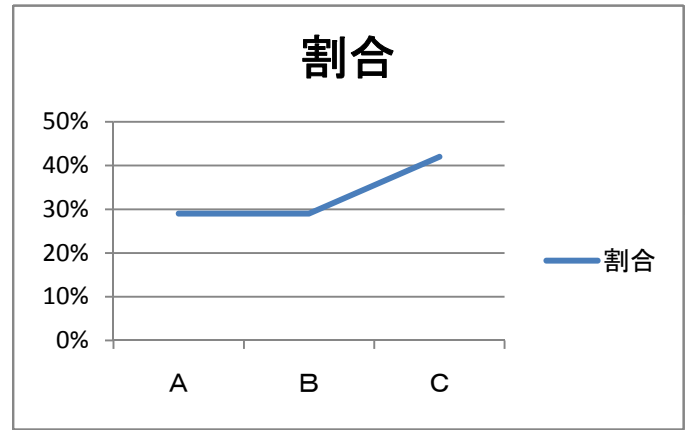
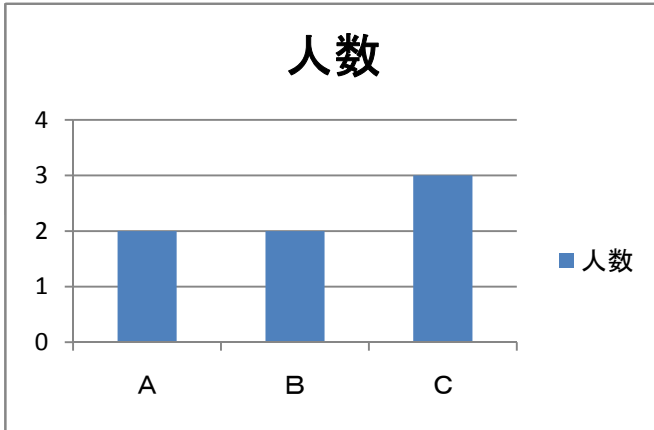
M1	井端先生、石島先生、加藤先生、末崎先生、前津先生、脇阪先生の講義はとってもためになり、楽しく授業を受けています。皆様、熱心に授業を行っていると思っております。
----	---

2011年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

7.施設・設備

①大学院の施設・設備に関する満足度

項目	人数	割合	内容
A	2	29%	満足している
B	2	29%	満足していない
C	3	42%	どちらでもない

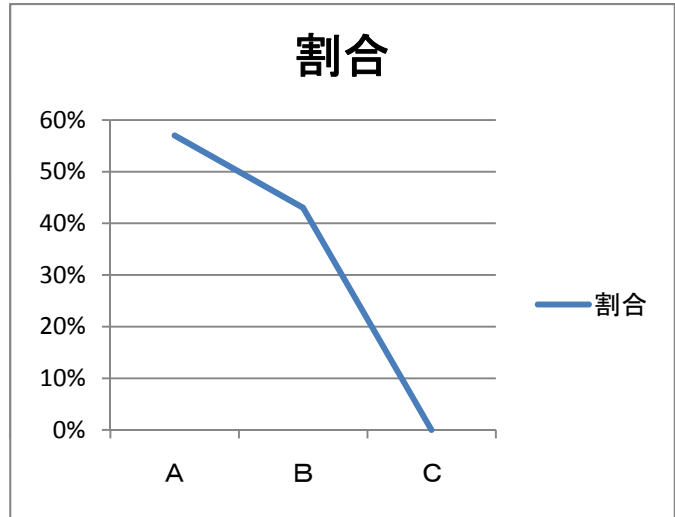
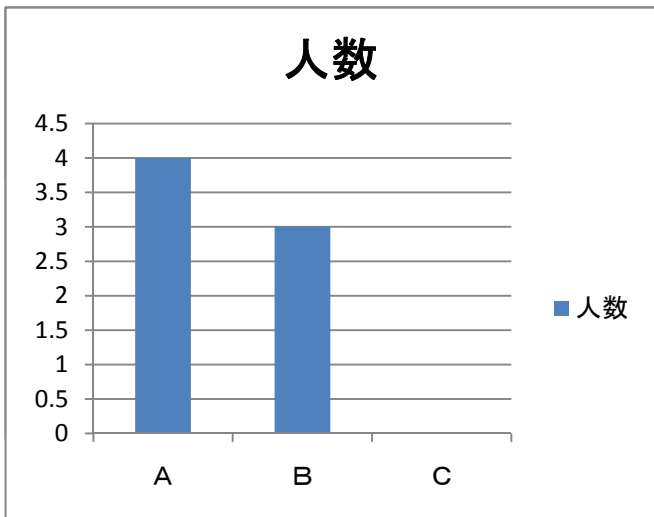


②満足できない理由

M1	研究室(自習室)、パソコン室を24時間開放してほしい。
M2	13号館のコンピュータ室について、長方形のテーブルに4台程度のコンピュータがそれぞれ設置されているが、1台毎に目隠し程度のパーテーション等に区切って、隣を意識せずに集中できる環境があると良い。

③大学内設備の利用状況

項目	人数	割合	内容
A	4	57%	よく利用している
B	3	43%	たまに利用している
C	0	0%	全く利用していない



④大学院の施設・設備に関する意見・要望

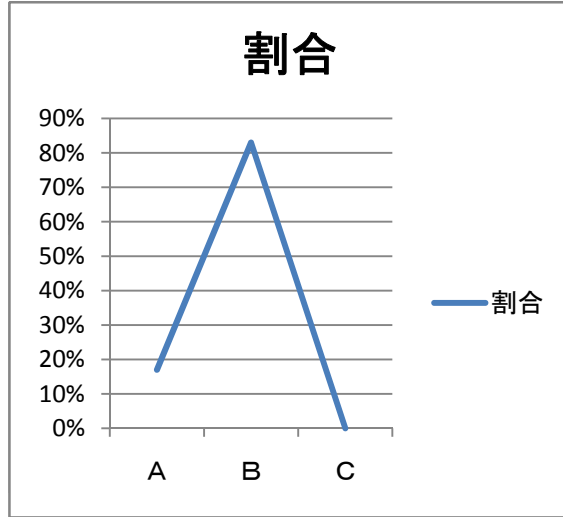
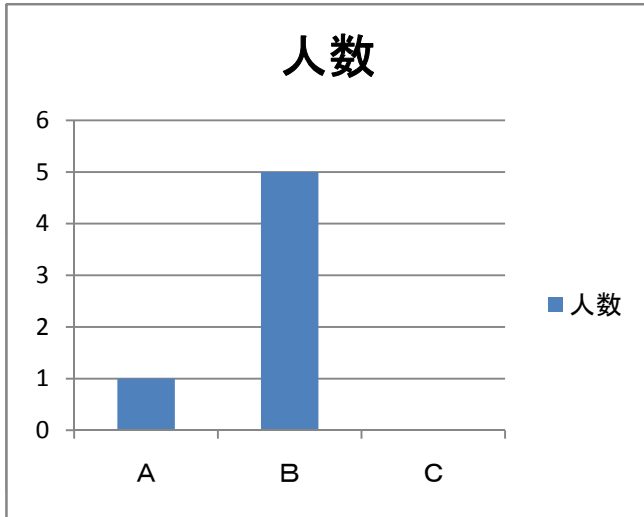
M1	パソコン教室のパソコンを新しいのにしてほしい。
M1	パソコンがよくフリーズする。キーボードの調子も悪い。
M2	研究個室から直接3階のプリンターに出力指示が出来ると便利だと思いました。
M2	図書館の本の貸出しが、卒業年の2月10日までとされているが、せめて最終試験が終わり、修論の提出期限(3月1日)頃までに延長してもらいたいです。

2011年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

8.教育支援者(TA・SA)制度

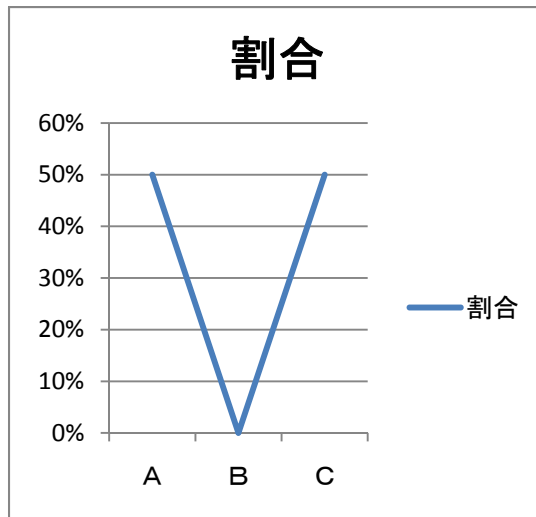
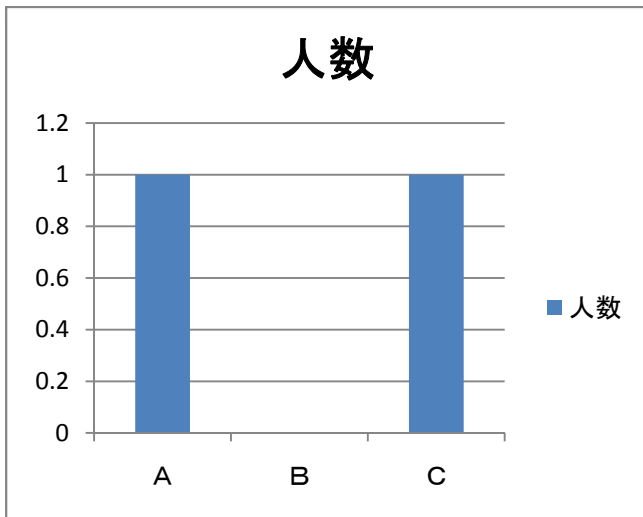
①教育支援者(TA・SA)制度の活動状況 ※未回答:1名

項目	人数	割合	内容
A	1	17%	行っています
B	5	83%	行っていません
C	0	0%	過去に経験があります



②教育支援者(TA・SA)制度の継続について(M1のみ回答)

項目	人数	割合	内容
A	1	50%	続けたい
B	0	0%	続けたくない
C	1	50%	どちらでもない



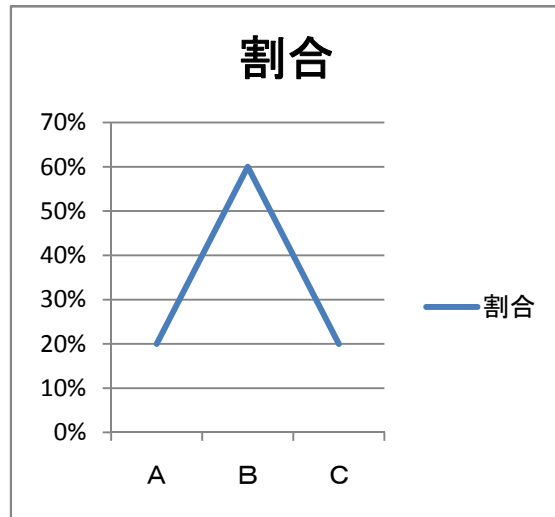
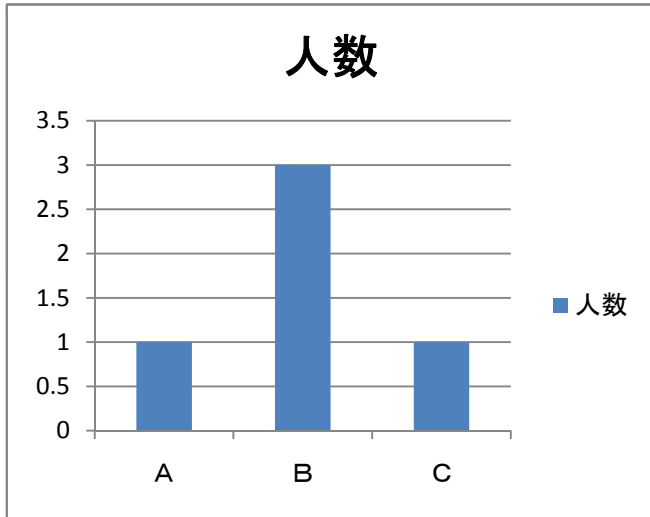
③②の理由

M1	より集中的に専門的な知識を学ぶことになるし、生徒の視点で質問がくるので、違った点が発見できるから。(A)
----	--

2011年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

④教育支援者(TA)を経験したいか(教育支援者経験の無い方への質問)

項目	人数	割合	内容
A	1	20%	してみたい
B	3	60%	してみたくない
C	1	20%	どちらでもない



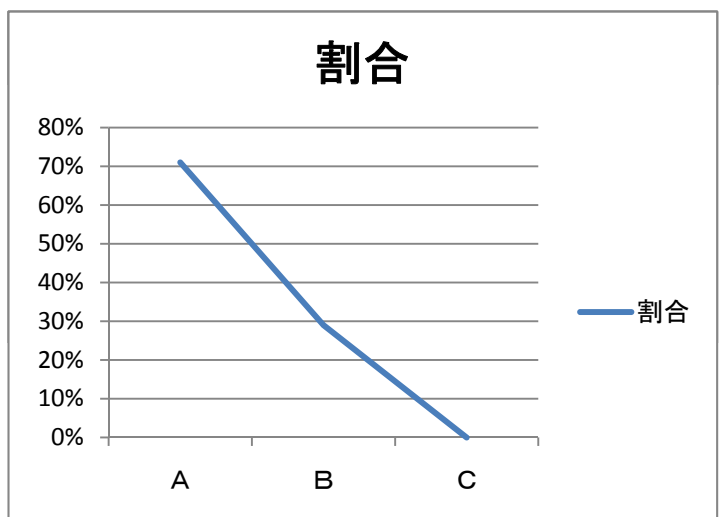
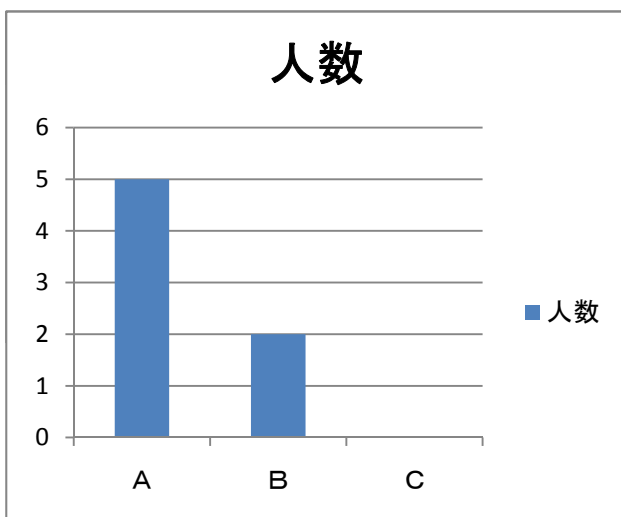
⑤④の理由

M1	教育支援者のための時間の確保が困難なため。(B)
M2	今更望めませんが、論理的な思考を身につけることができる(実践できる?)(A)
M2	特に考えたことはありません。(C)

9.本学に付置している研究所について

①本学にある4つの研究所を知っているか

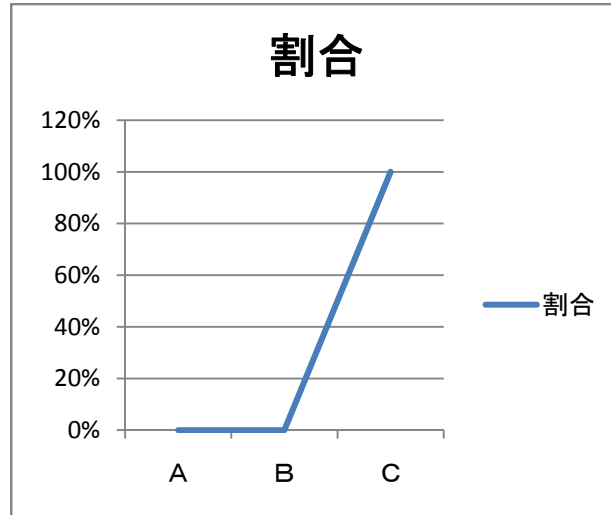
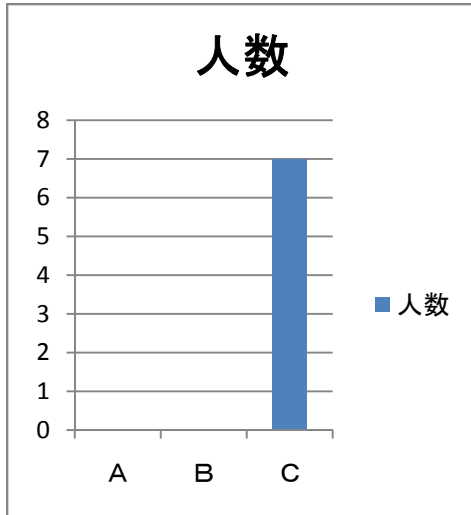
項目	人数	割合	内容
A	5	71%	知っている
B	2	29%	知らない
C	0	0%	興味がない



2011年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート集計結果

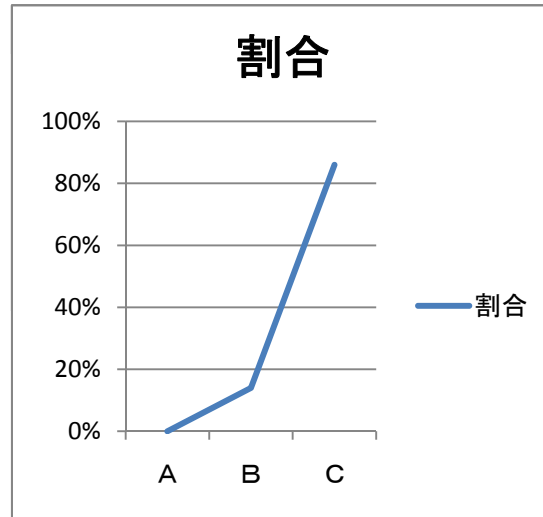
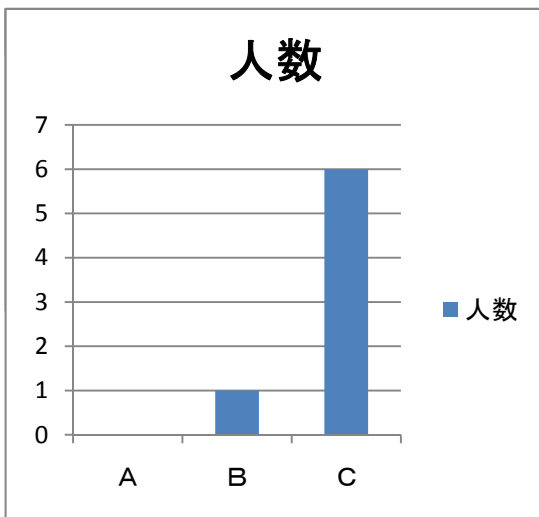
②研究所の利用状況

項目	人数	割合	内容
A	0	0%	よく利用している
B	0	0%	たまに利用している
C	7	100%	全く利用していない



③研究所が主催する「研究会」などのイベントの参加状況

項目	人数	割合	内容
A	0	0%	よく参加している
B	1	14%	たまに参加している
C	6	86%	全く参加していない



10.その他の意見・要望

M1	<ul style="list-style-type: none"> ・大学院用の駐車場がほしい 全員分とは言わないが、10～15くらいは確保してほしい。学祭期間も講義はあるのに、駐車できないのはおかしいのでは？昼間の授業があると大変。 ・集中講義の日程 今年度だけかもしれませんが、集中講義の日程が重なっていて、物理的に履修できなかった。 ・研究室の24時間開放
----	---